

「イトコサガシ」

平成 26 年 9 月 22 日

今回、青森県発達障害支援センター「ステップ」主催、「東京都成人発達障害当事者会」代表の冠地情さんの講演を聞くことができました。ご本人が「イトコサガシ」というワークショップを開催していることもあり、参加者を巻き込んで質問形式の進行に始まり、時にはクイズを交えながらの楽しい講演でした。

障害を持つ方の中には、幼少期や青年期に周りの人と上手くコミュニケーションができず、その後もコミュニケーションを行う機会がないまま成長される方が多いと聞きました。コミュニケーションを楽しめる場所というのは、自分以外のルール・価値観・世界観・言葉・表現などの知識を得ることができ自分の中の引き出しを増やす機会になります。冠地さんは社会に出てからアルバイトを転々とし、その間に自分を取り戻すための時間、自分は何がしたいのか・自分には何が必要なのかを考えていたそうです。これは、自立訓練や一般就労を目指している当事業所の利用者にも当てはまることに気づきました。

また、家庭や学校などの生活の影響を受ける場所でのコミュニケーションよりも、サードプレイス（家庭や学校などの生活のしがらみのない第三の場所）での活動が、ご本人の自分を表現するためには大切な場所だと感じました。冠地さんの話されたこと全てが当事業所の利用者に当てはまるかはわかりませんが、コミュニケーションを楽しめる環境にしていければ良いと思いました。

当事業所の利用者がこれからの社会で過ごしやすくなるように、日常的にコミュニケーションを楽しめるようにはたらきかけることが大切だと感じ、今後の課題にしていきたいと思います。

自立訓練（生活訓練） レッツ
川森 美幸